

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トレラ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達特性や興味関心に応じた支援を行い、安心して過ごせる環境づくりを大切にしている。	運動や遊びを取り入れた活動を通して、身体の使い方や感覚面への働きかけを行い、楽しみながら発達を促す支援を行っている。	児童の興味関心を踏まえた活動内容を取り入れ、活動の幅を広げていく。
2	集団活動を通して、人との関わりやコミュニケーションの基礎を育む支援を行っている。	遊びや活動の中で順番やルールを学ぶ機会を設け、友だちとの関わりを経験できる環境づくりを行っている。	利用児同士の関係づくりを支援する活動を取り入れ、社会性の育成につなげていく。
3	外出活動や生活体験を通して、社会性や生活動作の習得につながる支援を行っている。	外出や買い物体験などを取り入れ、実生活に近い経験を通して社会性や生活スキルを学ぶ機会を設けている。	児童の興味関心を踏まえながら、さまざまな体験活動を取り入れ支援の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児の発達特性や支援ニーズが多様であるため、より専門的な支援の充実が求められる。	利用児一人ひとりの特性や発達段階が異なるため。	職員研修や情報共有を行い、支援の専門性向上に努めている。
2	活動内容や体験の機会をさらに充実させていく必要がある。	限られた時間の中で活動を実施しているため。	児童の興味関心や発達段階を踏まえた活動の工夫を行っている。
3	保護者への支援内容の周知をより充実させていく必要がある。	日々の活動内容を十分にお伝えできていない場合があるため。	LINE@やお便り等を活用し、支援内容を分かりやすく伝えていく。